

中学1年生は、5月23、24日に1泊2日で、備州窯と国立吉備青少年自然の家へ宿泊研修に行きました。

5月23日(水)



備前焼土ひねり体験

備前市にある備州窯へ行き、備前焼の作品を作りました。お皿やコップなど個性豊かな作品ができていました。焼成して完成した作品が届くのを生徒は楽しみにしています。



入所式

職員の方からの挨拶があり、今回の研修での心構えや注意事項などのお話がありました。また、1組の幹事が生徒代表の挨拶をしました。



長縄とび大会

オリエンテーリングの予定でしたが、雨天のため長縄とび大会に変更になりました。どのようにすれば多くとべるようになるかを工夫しながら汗を流しました。その後、ドッジボールを柔らかいフリスビーである「ドッジビー」という競技をし、楽しみました。



キャンプファイヤー

各クラスのトーチ係が営火長から火を分けられ、クラスの誓いの言葉を発表しました。その後、各クラスで校歌を合唱したり、ゲームをしたりしました。最後に、「今日の日はさようなら」を全員で合唱しました。合唱の練習の成果を発揮できていました。

5月24日(木)



野外炊事

班ごとに協力をしてカレーを作りました。材料を切ったり、火をおこしたりと苦勞をしましたが、おいしいカレーを作ることができました。



退所式

職員の方から「今回の研修を今後の学校生活にいかして下さい。」という言葉いただきました。そして、4組の幹事がお礼の挨拶をしました。この研修では、集合の仕方です叱られることもありましたが、あいさつなどで褒められるようなこともありました。今後の成長に期待したいと思います。